

## CO<sub>2</sub>排出量測定サービス 「C-checker」の取扱開始について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2024年10月23日（水）より、企業の脱炭素化を支援するCO<sub>2</sub>排出量測定サービス「C-checker（シーチェッカー）」の取扱いを開始いたしましたので、お知らせします。

当行では、脱炭素社会の実現に貢献するため、かねてより地元企業の取組みを支援するサービスの拡充に努めております。具体的には、地元企業のカーボンマネジメントをサポートする「脱炭素コンサルティング」や削減目標の達成状況に応じ金利優遇を行う各種「サステナブルファイナンス」をご提供するほか、省エネ設備を取扱う提携会社のご紹介などを行っております。




今般取扱いを開始する「C-checker」はこうした取組みに連なるもので、当行ホームページから無料でご利用いただけるサービスです。

電気・ガソリン等の使用量を入力するだけで、会社全体や事業所ごとのCO<sub>2</sub>排出量が自動で可視化され、年度ごとの排出量の比較や排出源の分析を簡単に行うことが可能となります。

また、本サービスの提供にあわせて、お客さまのご要望に応じ、コンサルティングやファイナンスのご提案も行うなど、CO<sub>2</sub>排出量の可視化から削減計画策定、計画の実行・モニタリングに至るまで、脱炭素化を一貫し伴走支援いたします。

当行では今後も、地元企業の皆さまの様々な課題を解決するサービスの提供に努め、地域経済の持続可能な発展に貢献してまいります。

### 《「C-checker」について》

<p>主な特長</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>✓ CO<sub>2</sub>排出量の可視化と分析</p> <p>CO<sub>2</sub>の排出につながる活動量（電気、ガソリン、ガス等の使用量）を入力すると、ダッシュボード（トップページ）にグラフで表示。前年度との排出量の比較や事業所ごとの傾向を一目で把握することができます。また、登録したデータをCSV形式で出力し、活用することも可能です。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>✓ 事業所ごとのCO<sub>2</sub>排出量、排出源の分析が可能</p> <p>事業所ごとに排出量を分析することが可能なため、CO<sub>2</sub>削減に向けた設備投資等の計画立案・実行をよりスムーズに行うことができます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>✓ 初期費用、ランニング費用ともに無料</p> <p>法人のお客さまであれば、無料で利用可能なツールです。費用のご負担なくご利用いただけます。</p> </div> </div>
<p>ご利用方法</p>	<p>以下のURLより無料でご利用いただけます。</p> <p><a href="https://cchecker.musashinobank.co.jp/ghg/user/registreq">https://cchecker.musashinobank.co.jp/ghg/user/registreq</a></p>

以上

報道機関からのお問い合わせ先  
法人コンサルティング部 法人企画グループ 新井 亮  
TEL (048) 641-6111 (代)